

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 272 号 ★★★

2017. 7. 25

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】 【ご質問・お問合せ】 【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局 (info@jhupo.org) にお願
いいたします。

■■■■ 日本プロテオーム学会 2017 年大会 (JHUP0 第 15 回大会)のご案内 No.7 ■■■■

■■■■ 直前情報 ■■■■

(本メールが読みにくい場合は添付書類をご覧ください)

日本プロテオーム学会会員の皆様

日本プロテオーム学会 2017 年大会 (JHUP0 第 15 回大会) (7 月 26 日～28 日)がいよいよ明日に迫ってき
ました。皆様にお得な直前情報をお知らせします。

1. スタンプラリー

昨年好評だったスタンプラリーを今年も行います。

スタンプラリー実施期間

27 日 : 9 時～18 時 28 日 9 時～15 時 ※展示は 16 時まで

実施方法

企業展示会場において、各企業の製品説明を受けられた後、スタンプを押してもらってください。

10 個集められた方は、受付のスタンプラリー回収箱に提出してください。提出されたスタンプカードの
中から抽選を行いますので、氏名、大会 ID、所属の記入もれがないように注意してください。なお、スタ
ンプラリー参加者には全員もれなく QUO カードを進呈します。

抽選結果は、7 月 28 日 (金) 16 : 00 以降、受付において大会 ID を掲示します。

2. 過去の大会写真のスライドショー

今大会は 15 回大会という節目にあたります。その記念として、過去の大会の写真を各セッションの合間
にスライドショーで流す予定です。写真は北里大学の 大石正道先生からご提供いただきました。皆様にとつ
て懐かしい思い出の写真もたくさんあると思いますので、どうぞお楽しみください。

【大会の概要】

本大会はテーマとして「プロテオームは爆発だ～医療に変革を～」を掲げ、わが国のプロテオーム研究を
いかに活性化するか、また、プロテオーム研究の成果や技術を使ってどのように医療に変革をもたらすか
について、皆さんと一緒に考え、議論したいと考えています。招待講演者として、ヒトプロテオームデー
タベースの構築だけでなく、クリニカルプロテオミクスの分野でも精力的な仕事をされている Akhilesh

Pandey 教授、創薬プロテオミクスの第一人者である Benjamin Cravatt 教授、リン酸化プロテオミクスの臨床応用を目指した研究をされている Steven Pelech 教授と Benjamin Ruprecht 博士および韓国 KHUP0 との交換講演として Cheolju Lee 博士をお招きしております。

プロテオミクスにご興味をお持ちの幅広い分野の専門家や若い研究者、大学院生など多くの方々にご参加いただき、皆様の研究の更なる発展に結びつく大会になることを願っております。

【主なセッション】

1 日目 (7 月 26 日水曜日) PM

教育セミナー

2 日目 (7 月 27 日木曜日) AM

招待講演 : Akhilesh Pandey

シンポジウム : Clinical Proteomics、Technological Advances

2 日目 (7 月 27 日木曜日) PM

招待講演 : Benjamin Cravatt、Benjamin Ruprecht

シンポジウム : Pharmacoproteomics & Drug Development Basic biology (Other than Mammals)

3 日目 (7 月 28 日金曜日) AM

招待講演 : Cheolju Lee、Steven Pelech

シンポジウム : Basic biology (Mammals)、Computational proteomics

3 日目 (7 月 28 日金曜日) PM

シンポジウム : Biobank & Body fluid、Systems Biology

【本大会の目玉企画】

[1] 26 日 (水) 午後の教育セミナーとランチョンセミナー

これからプロテオームを始める研究者やプロテオーム解析経験者を対象として、他の学会や研究会では聞けないような解析のノウハウを紹介するテクニカル教育セミナーを予定しています。また、教育セミナーの前に島津製作所のランチョンセミナーもありますので、教育セミナーを受講される方は是非ランチョンセミナーにもいらしてください。

[2] 27 日 (木) 夕方の企業新技術紹介

本大会では、特別講演、シンポジウム、ポスターセッション以外に、企業の技術紹介のイブニングセッションを設け、企業の方々に自社製品や自社開発研究を紹介していただく予定です。その時間は、ドリンク付になっていますので、お酒やソフトドリンクを片手に企業の方とディスカッションしていただければと思います。

[3] 27 日 (木) 懇親会 (3000 円均一)

学術企画だけでなく、懇親会でも特別企画を用意しております。お酒が飲めない方も楽しめますので、お誘いあわせの上ご参加ください。

1. 梅花女子大学のチアリーディング
2. サプライズイベント
3. 日本酒利き酒コーナー

日本プロテオーム学会 会長
朝長 毅
(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

大会事務局
国立研究開発法医薬基盤・健康・栄養研究所
プロテオームリサーチプロジェクト
567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8
TEL 072-641-9811 (代表) FAX 072-641-9861
E-mail : jpros2017@nibiohn.go.jp